

入試結果

	募集定員	受験者数	合格者数	補欠	倍率	入学者数
2019年度	200名	389名	233名	—	1.66倍	199名
2020年度	200名	321名	227名	—	1.41倍	203名
2021年度	200名	347名	225名	—	1.54倍	206名

2021年度入試合格者平均点	
国語	53.3点
社会	72.2点
数学	69.2点
理科	69.6点
英語	74.4点
5科合計	非公表

○2021年度合格最低点:非公表 ○合格者平均点:非公表

2022年度募集要項

◆【募集定員】200名

<試験日> 2月2日(水)・3日(木)
<合格発表> 2月4日(金)
<試験科目> 国語・社会・数学・理科・英語

<時間> 各50分
<配点> 各100点
<内申> 100点

学校情報

●校訓

- 創造を旨とし、気魄と情熱に燃えよ
- 一意専心、学道に精励せよ
- 明朗闊達、品位ある生徒たれ

●進路指導について

- 1年生では、学習習慣を確立して基礎学力の定着とともに自己の適性を知るよう努める。また、オープンキャンパスに参加したりして大学の学部・学科についての理解を深める。
- 2年生では、学力の確実な定着・更なる深化に努めるとともに、志望する大学や学部について調べたりして、進路意識の昂揚を図る。
- 3年生では、より一層学力の充実向上に努め、自らの志望・適性に沿った進路決定とその実現に努める。

●学校祭について

- 体育祭は6月上旬に中高合同で開催され、企画から運営まで全て生徒の手で行われている。3年生が中心となって指揮をとり、マスゲームや応援団・チャリディングの演技の他、中学生と合同での競技を含む多様なプログラム構成になっており、熱気に包まれる一大行事である。
- 文化祭は9月に開催され、サークル活動を中心に活動する。2年生を中心とする文化祭運営局が方針を決め計画を立てる。体育祭と同様、全てにおいて自主的に活動し、伝統的校風である「自由・自主・自律」を色濃く反映している。

●SSH(スーパーサイエンスハイスクール)

- 2003年度より指定を受け、大学や研究機関等と連携して、将来有為な科学技術系人材の育成を目指している。様々な取組みがあるが、特に生徒課題研究では様々な成果をあげており、非常に高い評価を得ている。また、海外の学校とのサイエンスを通じた交流では、国際的視野の獲得も目指している。2018年度から第4期に採択された。

●国際交流について

- AFS、YFU、PIEEなどの海外交換留学プログラムへの参加を奨励し、海外からの生徒の受け入れも積極的に行っている。
- 2003年よりオーストラリア研修を開始した。この研修は1年生の希望者を対象に春休み中の2週間にわたり、ホームステイをしながら現地の学校に通い現地の人々との交流を通して外国の生活・文化を体験する。

●様々な分野での活躍について

- 多様な分野での活動を奨励し、実績をあげている。
- 第60回国際数学オリンピック(イギリス大会)銅メダル、日本生物学オリンピック2019銅賞、第22代高校生平和大使 等

●保護者との連携について

- 機関誌「むつみ」の発行、PTA教養講座、進路座談会、学年・クラス懇談会、文化祭バザーなど。

クラブ活動

- 体育系 陸上競技/軟式野球/テニス/バレーボール/バスケットボール/サッカー/卓球/剣道/バドミントン/アーチェリー
- 文化系 合唱/管弦楽/ユネスコ/光画/調理/数学研究/放送/科学研究/軽音楽/茶道/美術/書道/棋道/文藝

進路実績

大学の合格実績については、現役生・過年度生の合計人数。()内は、過年度生の内数。

	難関国立大	広島大	国公立合計	早慶上理	明青立中	関関同立	私大進学合計
2019年度	58名(16)	36名(11)	非公表	74名(39)	53名(36)	140名(53)	非公表
2020年度	58名(9)	41名(9)	非公表	51名(10)	24名(3)	114名(28)	非公表
2021年度	58名(9)	48名(16)	非公表	37名(11)	17名(2)	146名(45)	非公表